

9月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質疑の様子をご覧いただけます。



樹木の安全管理について



創政クラブ 高木 きよし

議員 一定の幹回り以上に成長した樹木は、道路機能や安全管理に影響を与える恐れがあることから、目安となる伐採基準を設ける必要があると考えますが、所見を伺います。
行政事業部長 一律に基準を設けて伐採するのは、健全な樹木を伐採してしまう恐れがあり、難しいと考えます。道路機能と安全管理に悪影響を与える樹木については、関係課で情報共有し、伐採や剪定を行っていききたいと思います。



議員 今後の古木や肥大化した樹木の管理について、所見を伺います。
行政事業部長 安全管理上支障がある樹木については、パトロールによる早

期発見を心がけるとともに、地域から連絡があった際には、状況を確認した上で、迅速に対処していきます。今後も緑化推進に努めることを基本とし、自然災害などによる被害の未然防止ができるよう、管理していききたいと思います。

議員 肥大化した樹木や危険な状況にある樹木の管理、伐採について市長の所見を伺います。

市長 危険性のある街路樹は、できるだけ早く伐採するのがよいと考えます。

議員 安全安心のまちづくりを推進するため、市道の植樹帯にある肥大化した樹木に対する今後の対応について、所見を伺います。

市長 街路樹としての役割を果たしておらず、景観を悪化させている場合もあります。植樹帯や公園の樹木など、いろいろな木の在り方について、考える必要があると思います。

- その他の質問
- ・市道の管理と改良について



道路整備の進捗状況と今後の対応について



創政クラブ 松浦 武志

議員 太田市通学路安全推進会議で対応を協議した箇所、対応中や対応困難など、改善が完了していない箇所が数カ所あるようですが、通学路の安全対策の課題について伺います。
教育部長 地域住民の合意が得られない、要望された信号機が交通法規上設置できない、横断歩道の新設や塗り直しに時間を要するなどの課題があります。

議員 時間を要するものや、困難な課題への対応について伺います。

教育部長 学校において、交通安全指導を行っています。また、横断歩道の新設など対応中のものについては、進捗状況を確認しながら、関係機関に改善要望を続けていきたいと思っています。

議員 看板の設置や、横断歩道の補助装置として、歩行者横断点減器の設置も対策の一つと考えますが所見を伺います。

教育部長 歩行者横断点減器の設置は、費用対効果の面から慎重にならざるを得ませんが、注意喚起の看板設置なども含め、研究していきたいと考えます。

議員 小学校の通学路で、対策が必要であり優先度の高い箇所などに、歩行者横断点減器を設置することについて、市長の所見を伺います。



市長 設置費用が高額であり、小学校数を考えた場合、どこまで設置できるか、非常に難しいと思います。本市は、スクールバスを運行しており、危険なエリアについてはバスを利用することも可能ではないかと考えますので、検討していきたいと思っています。

- その他の質問
- ・運動施設の管理状況と今後の対応について



(仮称)太田西複合拠点公共施設について



太田クラブ 木村 浩明

議員 (仮称)太田西複合拠点公共施設に新設する図書館の特色について伺います。

文化スポーツ部長 漫画を特色とした滞在型の図書館を目指していきます。

議員 企画展示の充実や、他部局と連携した情報発信コーナーの設置が重要と考えますが、所見を伺います。

文化スポーツ部長 他部局と連携し、さまざまな情報を発信できるコーナーを設置していきたいと思っています。また、健康や介護といったテーマや時期に応じた企画展示など、各図書館で積極的に開催していきたいと考えます。

議員 新設する図書館における漫画の蔵書数の計画について伺います。

文化スポーツ部長 さまざまなジャンルの漫画1万5千冊をそろえ、状況を見ながらさらに充実させたいと考えています。

議員 新設する図書館の蔵書について、予算を充実させ、3割程度の入れ替えを要望します。また、さまざまなイ

イベントが開催できるよう、職員の増員も必要と考えますが、所見を伺います。

市長 新しい図書館の本棚に古い本ばかり並んでいては魅力に乏しいと考えますので、新刊を中心に配備することが必要だと思います。人員については、必要な場合には増員を考えますが、4つの図書館がありますので、互いにフォローできればいいと思います。

議員 群馬クレインサンダーズとのコラボイベントの開催について、所見を伺います。

市長 選手の好きな本や思い出の1冊の紹介など、面白い企画になると考えますので、これからもぜひご提案いただければと思います。



学校給食について



参政党 仁藤 すぐる

議員 本市の学校給食で使用している食材や献立のコンセプトについて伺います。

教育部長 食材は地産地消を推進しています。献立は、栄養バランス、望ましい食習慣の形成や食文化、旬の食材など食に関する指導の教材となることをコンセプトにしています。

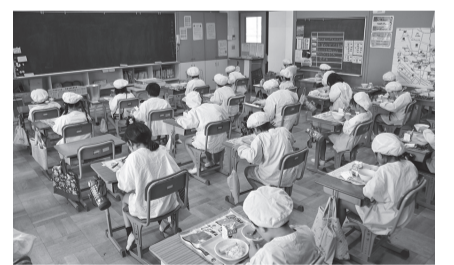
議員 どのような食材に食品添加物が含まれているのか伺います。

教育部長 厚生労働省が安全と認めた食品添加物が、大豆加工品、牛肉加工品、食肉加工品などの加工食品、調味料に使用されています。

議員 本市において、オーガニック給食を健康教育の一環として導入することについて所見を伺います。

教育部長 オーガニック給食の懸案事項として、食材が高価であること、供給量が需要量に満たないと予想されることが挙げられます。現在も地場産品を中心に安全安心な食材を使った給食を提供できていることから、現時

点では、オーガニック給食の導入は検討していません。



議員 オーガニック給食など食の安全性の啓蒙を推進していただきたいと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 本市には、有機JAS認定を受けている生産者はおらず、オーガニック食材をそろえることは困難です。現在も、農家の方々が、地元で作った米と野菜を自分たちの子どもに食べてもらうという意識で、積極的に食材を供給してくれており、このような環境の中で給食を作っていくことが大切であると考えます。

- その他の質問
- ・乳児の支援について